



カーボンマーケット

Sustainability is our business

© Copyright 2024 by The ERM International Group Limited and/or its affiliates ("ERM"). All rights reserved. No part of this work may be reproduced or transmitted in any form or by any means, without prior written permission of ERM.



カーボンマーケット概観

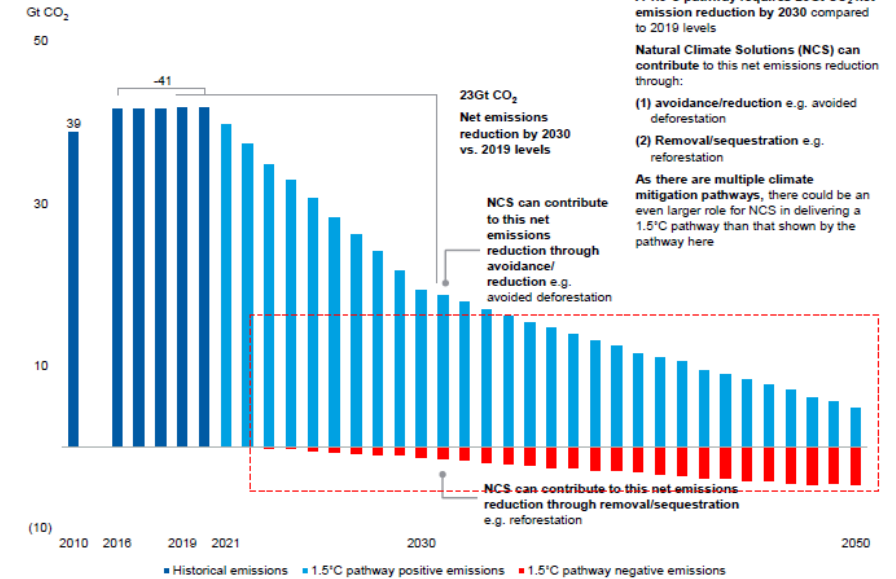
CARBON MARKET OVERVIEW

Carbon Market Dynamics & Drivers

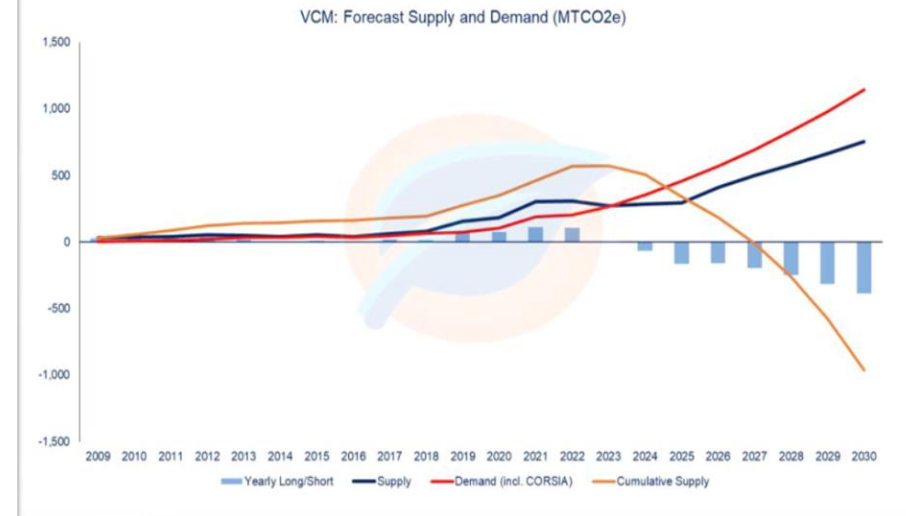
カーボンマーケットを巡る変化する外部環境を慎重に見極め、企業の脱炭素目標達成のために何が活用できるかを見極める必要

- 2050年のネットゼロの流れの中で、2030年までの世界的な脱炭素への取組はカーボンマーケットの役割が不可欠
- 現在、カーボンマーケットでは需要が供給を上回っており、新たな参加者の参入が加速
- 今後国の制度化のコンプライアンスマーケットと民間が主体のボランタリーマーケットのつながりは不透明ではありますが、新たな機会構築を模索中
- ボランタリーマーケットと国連での制度化が議論されているパリ協定第6条の関係は不透明だが、COP25以降の議論ではこれまで開発および所有されたクレジットの市場全体での位置づけを確認する必要あり
- ボランタリーマーケット全体のリスクと機会では、価格の多様化、高品質クレジットへの基準の複雑化、方法論の開発と更新などの変化、企業及びプロジェクトの評判の増加、参加各国の国内規制の変更、国連下のパリ協定第6条、新しい標準への更新（Verra、ICVCM、TASVCM等）など市場全体が複雑化の傾向

Net Carbon Dioxide Emissions Pathway to Achieve 1.5°C Increase



Voluntary Carbon Market Outlook



出典: Market reports from McKinsey, Morgan Stanley, Vitol

カーボンマーケットサービス

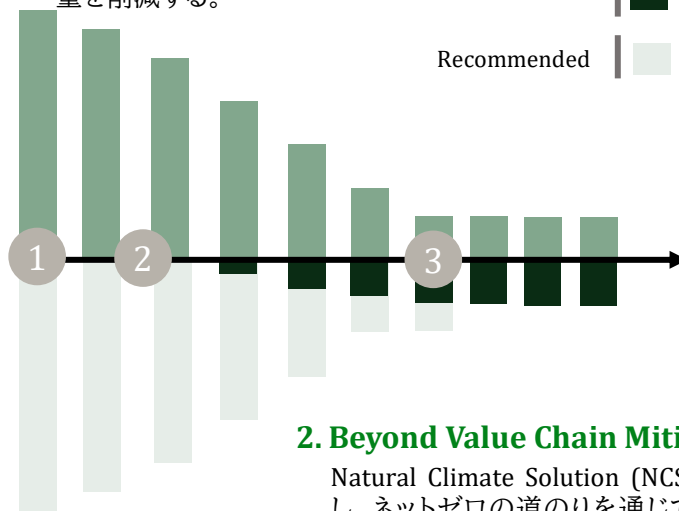
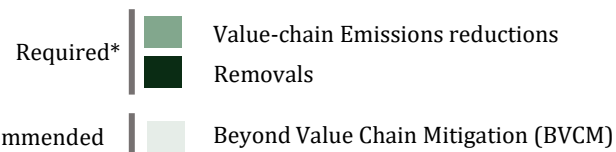
CARBON MARKET SERVICE

Incorporate Offsets into your Climate Strategy

中長期的な脱炭素の取組の中でカーボンオフセット活用のご概念図

1. 排出量を削減する

短期・長期の科学的根拠に基づく目標、あるいは整合性のある目標を設定し、バリューチェーン内の排出量を削減する。



3. ネットゼロを実現する

残留排出量を中和するための除去プロジェクトに投資する。

2. Beyond Value Chain Mitigation (BVCM) に投資する

Natural Climate Solution (NCS) を含むBVCMの炭素クレジットに投資し、ネットゼロの道のりを通じて排出量を軽減する。これには、回避・除去(*)プロジェクトによる質の高いクレジットが含まれます。

* 森林劣化・破壊の防止や省エネへの取組を通じて、大気中へのGHGの放出を回避したり、CCS/BECCS、DAC (Direct Air Capture) などを通じて、既に排出されてしまったGHGを大気中から除去すること。

Offset Advisory Services



カーボンマーケット関連サービス

カーボンオフセットに関連する制度・市場の調査、事業開発、そして開示に至るまで、グローバル体制でご支援させていただきます。



制度・市場の分析 Underlying Analysis

- ・ カーボン・オフセット・スキームにおける要件の調査
- ・ クライアントの事業戦略・プロジェクトを踏まえた最適なオプションの分析・特定
- ・ BECCSに関する政策及び市場の調査
- ・ 生物多様性・自然資本を活用したアプローチの分析・特定



事業パートナーの特定 Project Soliciting Partner Identification

- ・ デベロッパーやバイヤーなど候補となる事業者の特定・スクリーニング
- ・ 公開情報やインタビューによる事業者の評価
- ・ 現地事業者とのプロジェクト共同設計
- ・ 入札・RFP・契約設計に関するアドバイザリー
- ・ 事業パートナーからの提案書の評価・選定



事業パートナーの能力構築 Capacity Building of Partners

- ・ ERMが有する世界中のデベロッパーとのコネクション・知見に基づくプロジェクトマネジメント
- ・ KPI 策定・ベースライン設定
- ・ 気候・生物多様性・コミュニティにおける各側面の統合
- ・ モデル・ツール開発による技術的支援と事業パートナーの能力構築



モニタリング Monitoring Reporting & Verification

- ・ カーボンストック評価を行う最新技術に対応したGIS・リモートセンシング
- ・ 費用対効果及びKPIの達成・モニタリング
- ・ プロセス全体におけるリスクと事業機会の評価・管理、アカウンタビリティの強化
- ・ オフセットプロジェクトによって主張されるGHG排出削減の検証・事前審査(※ERM CVS(Certificate & Verification Services)のサービス)



情報開示 Learning and Communication

- ・ 効果的なステークホルダーコミュニケーションを目指した広報資料の策定
- ・ サステナビリティレポートにおける開示資料の策定
- ・ グローバルネットワークとの連携
- ・ 気候・自然資本の情報開示に関する制度変更のモニタリング



ファンド関連支援 Project Vehicle and Fund

- ・ プロジェクトに適した組織体制に関するアドバイザリー及びその設立・運営において可能な支援の実行
- ・ ファンドマネジメントに関する助言

お問い合わせ

富田 宏
Consulting Partner

hiroshi.tomita@erm.com

イー・アール・エム日本株式会社

本社

〒220-8119
神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー19階

東京オフィス

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル5階

大阪オフィス

〒530-0017
大阪府大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル20階